



第 11 号
平成 27 年 2 月 13 日
広島市立広島特別支援学校
保健室

まだまだ寒い日が続いていますが、2月4日は立春でした。この日は春の始まりの一日と言われ、立春が過ぎて最初に吹く強い南風は春一番と呼ばれます。春一番の頃から、寒い日と暖かい日が交互にやってくるようになります。体調管理には十分気を付けましょう。

体調が良くない人は、元気になれるよう、今は体を休めましょう。体調が良い人も感染症予防を心掛けましょう。



1 2月の保健行事予定

日時	小学部	中学部	高等部
2月 2日 (月)	体重測定 (1、3~6年)		
2月 5日 (木)	神経科健康相談		
2月 6日 (金)			体重測定 (3年)
2月 9日 (月)		体重測定 (全学年)	
2月 10日 (火)			体重測定 (1年)
2月 16日 (月)			体重測定 (2年)
2月 17日 (火)	体重測定 (2年)		
2月 26日 (木)	空気検査 (全ての教室のうちの数箇所)		

2 インフルエンザについて

1月7日に広島県内に『インフルエンザ警報』が発令されました。インフルエンザにかかり、現在お休みしている児童生徒の人数は次の表のとおりです。本校では、インフルエンザA型にかかった人が多い状況です。1月の下旬が一番多く、約29人の児童生徒がインフルエンザにかかっていました。2月に入り、落ち着いてきましたが、まだまだ学級閉鎖をしている学校もありますので、お気を付けください。

学校でも、予防の取組を進めるとともに、児童生徒の体調不良に早めに気づき、早めに対応させていきたいと思っております。御家庭でも御協力のほど、よろしくお願い致します。



<学校内のインフルエンザ情報>

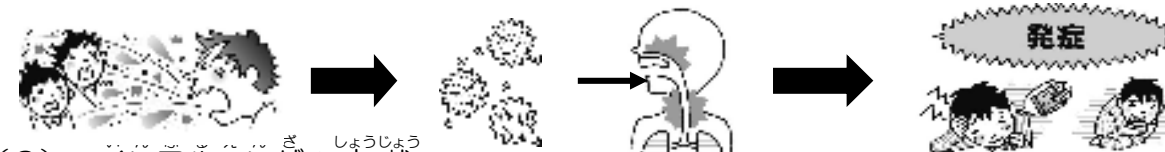
小学部	0人
中学部	0人
高等部	0人
合計	0人

(2月9日現在)

3 インフルエンザについて

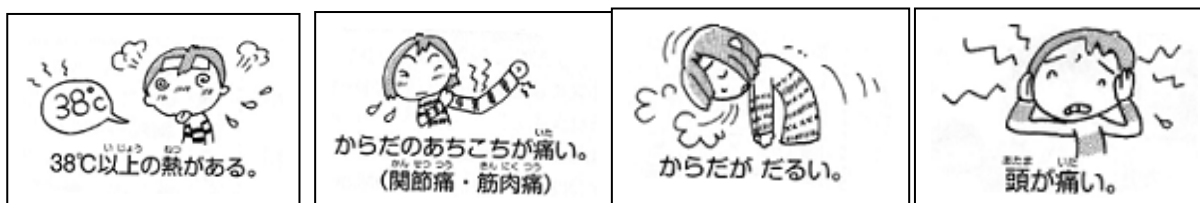
(1) インフルエンザの感染経路

主な感染経路は、せきやくしゃみをしたときに口から出る小さな水滴(飛沫)が飛び散り、空気と一緒に他の人の体に入り込む飛沫感染です。また、ウイルスが付いた物を触った手で鼻や口を触り、ウイルスが体の中に入って、インフルエンザにかかってしまう接触感染も感染経路の一つです。そのため、手洗いが大切です。



(2) インフルエンザの症状

次のような症状が突然起こったら、インフルエンザの可能性がります。



【保護者の方へ】



普通の風邪と同じように、喉の痛みや鼻水、せきなどの症状がみられることもあります。感染力が強いため、周りにインフルエンザの人がいるときには、体調の変化に注意し、もしかしたら・・・と思ったら、無理に登校せず、医師の診察を受けてください。

(3) インフルエンザの予防方法

せっけんを使った手洗い

うがい

マスクを着ける

1時間に約5分間の換気

湿度を50~60%くらいに

早起き・早寝・栄養補給

①鼻と口の両方をおおい、②ゴムひもを耳に掛け、③できるだけすきまをなくして調節して着けましょう。

4 感染性胃腸炎に御注意ください

この時期の吐き気・嘔吐、下痢・腹痛、37℃台の発熱の症状がある場合は、感染性胃腸炎の可能性がります。引き続き、健康管理と手洗い等の感染症予防を心掛けていきましょう。